

ふくい嶺北連携中枢都市圏 令和元年度の主な取組状況

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

② 繊維産業販路拡大支援

海外アパレルとのマッチングなどの商談支援や、輸出に向けたセミナーなどの実務支援のほか、海外展示会への出展支援を実施

・海外アパレルとのマッチングなどの商談支援

- 新規契約件数 10件（見込）

・海外展示会への出展支援

- 支援件数 2件（見込）



取組を通して見えてきた課題

- ・業界の多数を占める小規模事業者の販路拡大の機会創出が必要
- ・SDGsへの対応が急務

⑦ 特産品販路開拓・拡大

・「おいしいふくい大博覧会」の開催

圏域全体の食の認知度向上と販路拡大を目的に、圏域内の美味しい特産品を一同に集めた物産展を開催

- 期間 令和元年5月29日～6月3日
- 会場 西武福井店6階催事場
- 参加事業者 33事業者



アンケートで寄せられた意見

- ・遠方であり、普段なかなか行けない店が出展されていて良かった
- ・馴染みのない店が魅力的な商品を扱っており、新たな発見があった

⑨ 農林水産物特産品販路拡大

・「ふくいを食べよう！地産地消マルシェ」の開催

「おいしいふくい大博覧会」にあわせて、圏域内の農産物生産者や加工品製造業者と連携した物産展を開催

- 日時 令和元年6月2日
- 会場 福井駅前電車通り 西武福井店前付近
- 参加団体 圏域内8団体



事業効果

- ・商工事業と農林事業との連携により、各出店者間の交流機会が創出されるとともに、双方向の人の流れにより販路創出が図られた

・「越前福井GO宴フェア」の開催

首都圏での販路開拓・PR及び応援飲食店づくりを目的として、福井の食材を使用したオリジナルメニューを提供

- 期間 令和元年11月1日～30日
- 提供場所 首都圏等の和食やフレンチ・イタリアン等の店舗
- 店舗数 105店舗
- 食材 越のルビー、せいこがに、油あげ等31品目



連携

⑫ 観光動態調査

ビックデータを活用した嶺北エリアへの国内観光客に関する動態調査を実施

- 期間 令和元年6月～9月
- 対象地点 嶺北44地点
- 利用データ 携帯電話端末の基地局データによる「モバイル空間統計データ」



調査結果から見えてきたこと

- ・嶺北エリア全体として最適な観光戦略を実践していくことが重要
- ・戦略によっては、福井へのアクセス多様化に伴う首都圏方面からの来訪増加が見込まれる

ふくい嶺北連携中枢都市圏 令和元年度の主な取組状況

(2) 高次の都市機能の集積・強化

⑱ 公共交通ネットワーク構築

駅、バス停周辺駐車場及び各市町コミュニティバスの実態を調査し、公共交通のネットワーク化に向けた協議を実施

- パーク＆ライドの整備やコミュニティバスの相互乗り入れの運行モデルについて検討

協議の中で提案された意見

- ・ 今後は、MaaS^(※)の利用を前提とした施策検討が必要となってくる
- (※) 最適な移動手段をシームレスに一つのアプリで提供するなど、移動を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念



⑳ 中心拠点賑わい創出

福井駅周辺の賑わい創出に関するニーズを把握するため、「福井駅周辺の賑わい創出に関する調査」として、連携市町や関係団体等に対し、アンケート調査及びヒアリングを実施

- 調査対象 連携市町、まちづくり会社、観光協会等49団体

調査結果から見てきたこと

- ・ 圏域内の多様な地域資源を活用したイベントが効果的
- ・ PR手法の一つとして、まちなかの回遊にもつながる宝探しゲーム等の体験型イベントが効果的



㉑ 福井ふるさと広域景観形成

広域景観形成に繋がるソフト事業を検討するため、「広域景観形成事業の可能性調査」として分析調査を実施

- 調査内容 景観軸ごとの景観資源
他市町の施策事例

調査結果から見てきたこと

- ・ 観光誘客に向けた景観資源のPR手法としては、
広域景観PR映像の作成・公開が効果的



(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

㉒ 成年後見制度利用促進体制整備

各市町の現状及び課題の整理や、先進事例の研究などを行う連携検討会の開催

【第1回】(5月開催)

- 講義 「成年後見制度利用促進体制の現状と課題」
- 検討内容 各市町の成年後見にかかる現状、課題について

【第2回】(9月開催)

- 検討内容 中核機関の必要性和広域連携の意義について

連携検討会の中で提案された意見

- ・ 中核機関設置に向けては、法律や福祉の専門家を交えた議論の場が必要である
- 「(仮称)連携協議会」設置に向けた準備会の立ち上げ



㉓ 情報システム広域連携調査研究

行政システムの共同利用に向けた調査研究を実施

- 各市町で行政システムが異なり、共同化については引き続き調査研究を実施

協議の中で提案された意見

- ・ 業務の省力化が図られるRPA^(※)導入による共同研究が望ましい

(※) 人間がコンピュータを操作して行う作業を、ソフトウェアによる自動的な操作によって代替する仕組み

㉔ 広報ネットワーク強化

広報担当職員のためのスキルアップ研修会を開催

【第1回】(5月開催)

- 研修内容 カメラ操作と広報紙用写真撮影の基本
- 参加者数 22人

【第2回】(10月開催)

- 研修内容 広報紙のレイアウト
- 参加者数 16人

【第3回】(1月開催)

- 研修内容 SNSの活用方法
- 参加者数 13人



アンケートで寄せられた意見

- ・ 普段、機会のない実践的な研修を受講できて有意義だった
- ・ 他市町職員との交流を今後の業務に活かしたい